

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク実習 a		選択	1	2	冬春季(集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文 他	B307	t.watanabe	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>ソーシャルワーク実践に必要な知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養うことを目的とする。</p> <p><概要>実践現場での体験を通し、ソーシャルワーク実践に必要な資質、能力、技術を体験的に体得することを目指す。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・イベント <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	社会福祉士国家試験科目とは考え方の基盤が重複するため、関連付けて復習しておくことが望ましい。受け身にならず、主体的に学びを得る姿勢を持つことが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習[社会専門]/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じて資料を配布する。				
外部教材	特になし。				

学生が達成すべき行動目標		関連卒業認定・学位授与方針
①	社会福祉士としての価値と倫理に基づき、ソーシャルワーク実践に必要な知識と技術を統合し、支援するための実践能力を身につける。	HC(1)
②	支援を必要とする人や地域の状況を把握し、生活上の課題(ニーズ)を考える方法を理解し説明できる。	HC(2)
③	地域社会の中で施設・機関等が果たす役割を理解する方法を理解し説明できる。	HC(3)
④	自己覚知を深める。	HC(4)、(6)
⑤		
⑥		

授 業 計 画
<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働大臣が定める実習施設および事業所において、8日間かつ60時間以上の実習を行う。 ・ソーシャルワーク実習を通して、相談援助にかかる専門的な価値、知識、技術を具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。 ・実習前教育、実習中教育、実習後教育という継続的かつ一体的な指導を受ける。特に、実習中は、実習指導者による指導、そして、担当教員による巡回指導および帰校日指導を受け、実習での取り組みを振り返り、考察しながら、学びを深める。 ・実習記録(実習日誌、実習報告書)を作成し、提出する。 <p>[実習指導者による指導内容]</p> <p>実習では、実習生は次に掲げる事項について実習指導者による指導を受ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 利用者やその関係者(家族・親族、友人等)、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成 (2) 利用者やその関係者(家族・親族、友人等)との援助関係の形成 (3) 利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題(ニーズ)の把握、支援計画の作成と実施及び評価 (4) 利用者やその関係者(家族・親族、友人等)への権利擁護活動とその評価 (5) 当該実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ
必要時間(単位:時間): 60

学習課題・学習時間
実習記録(実習日誌)を毎日作成し、翌朝実習指導者に提出する。
必要時間(単位:時間): 8

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	20	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	実習日誌に記載した内容を評価する。また、実習の取り組み状況および成果等について評価する。				個別にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	田村 正人						
教員の実務経験	渡邊 隆文：社会福祉士取得後 6 年の実務経験を有する。 田村 正人：社会福祉士取得後 13 年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の事例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・止むを得ず遅刻・欠席する場合は、しかるべき手順を踏んで対応すること。 ・学外実習を実施するが、実習先及び教員が示す方法を遵守すること。 ・上記、指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。 						